

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援ルームわかな					公表日	令和7年3月1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	2	広く必要なスペースの時は机等を移動する				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	1対1が必要な時は、職員の応援を呼ぶ。	安全を第一優先とする			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	4	安全を考慮して、カバーを付けたり、カバーを敷いています。	身体に障害のある子がいれば、特性に応じた設備が必要です。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	2	掃除とか、整理はできている。子供たちに合わせた空間は分からない。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	1	5	静かな部屋がないので、仕切りをして、カバーをしています。				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		常に話し合いをして、改善を図っている。				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		保護者からのメールや伝達ごとを話し合い改善をしています。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2		パートさんの意見を聞く機会を増やす。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	第3社委員会を外部に設けていない。	相談支援等と話し合いをよくしている。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	3	話し合いをしている。	講習の機会を増やす。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		ホームページに掲載				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3	3	ニーズや課題を家族様、保育園、相談支援さんと話し合う。	家族様のニーズと課題が合わない			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	3	支援の話し合いが一致しないことがある。	課題等を話し合う。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	2	支援の中で、少しの出来事も話し合う。	少しの課題でも意見を言う。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	3	意見を出し合う。	神経質にならように意見を言う。			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2	4	本人と家族様の意向とのギャップを少しでも合うように工夫する	本人と家族様の意向とのギャップを少しでも合うように努力をする。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		6	児発管が作成、みんなに結果報告。	もう1度話し合う。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	3	色々な手段を工夫。				

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	2	4	個別指導と集団指導の組み合わせが難しい。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		今日の予定、注意事項は伝達している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		支援の終わりは今日の出来事、気づきを話し合っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		個々の日報を毎日書いている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1	家庭訪問は年1回はしています。	その都度、家族様とメール交換をしています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		相談支援とは頻りに報告、話し合いをしています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	4	保育所、幼稚園とは連携をとっています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	4	お迎えに行った時に、園での過ごし方などのお話をしている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		6	入学してから、意見交換をしています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)			6	
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		6		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6		公園等で交流を持っています。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時、メール、ホームページにて理解をもらっています。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		6	出来ていない。	今後、研修の機会をつくります。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	2	利用負担、支援については話をしている。	支援については、もっとお話の機会を増やす
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		年1回は家庭訪問をしています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	3	相談等があるとき、面談をしている。	定期的に行う。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	4	2回したが、一人しか来なかった。	多くの人が参加できるように工夫をする。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1	メール、電話で対応。	第3者（相談支援等）とも面談。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		ホームページに支援の様子を掲載。	ホームページの内容を増やす。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	4	口頭で注意を促す。	講習の機会を増やす。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	2	丁寧に説明をする。	根気よく説明。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	地域の人や、子供たちに挨拶、声掛けをする（保育園の延長）	
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	5	防災訓練は行っています。
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		6	BCPは策定出来ていない。防災訓練はしている。	
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		契約の時に書類をいただく。	
48		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	契約の時に書類、口頭で聞く	
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	2	訓練、研修は行っている。	色々な方法を考える。
50		子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	5	ホームページの掲載。	訓練の様子をメールで知らせる。
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	1	5	話し合いはしている。	研修を増やす。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	3	会社でしている。	児童デイサービスだけで研修をする。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	3	やむを得ない場合、事前に家族様と話をしています。	全体で話し合いを設ける。	